



2021 (R3).10.1 発行
No. 237
愛媛県立図書館報

らいぶらり えひめ
Library Ehime

県立図書館の果たすべき役割

愛媛県立図書館長
小池 照雄

今年4月より県立図書館の館長を務めさせていただいています。元々は県立高校の教員で、昨年度までは西条市にある丹原高校に勤務し、「学力向上」「進路実現」「地域との協同による学校の魅力化」などの業務にあたっていました。県民の皆様の文化の発展・向上という面で共通する部分はありますが、図書館という新しい職場で初めて経験する業務に、緊張と発見、そして感動の毎日を過ごしています。

私個人としては、図書館とは、借りたい本があれば自分で探し、目当ての本があればカウンターで手続きをして借りて帰ることができる公共施設という認識でした。本が見つからなければあきらめていました。しかし、図書館に勤務して初めて、図書館は並んでいる本だけでなく書庫にも数多くの本が所蔵されていること、また、見つからない本は司書にたずねて探してもらうレファレンスサービスがあることを知りました。そして今では自分のスマホを使って県立図書館のホームページから蔵書検索するなど、とても便利に活用しています。

さて、図書館が果たす役割について、年代ごとの利用者の状況をもとに、県立図書館のPRもさせていただきながら、あらためて考えてみたいと思います。

幼少期では、親やきょうだいと連れ立って、週1回、月1回など定期的に訪れ、実際に本を手に取りながら、読んでみたいと思うものを見つけて、借りて帰るところでしょうか。伝記や冒険、推理ものといったシリーズ化された本は他の巻も気になって、図書館に行く日が待ち遠しいと感じた人も多いことでしょう。また、借りるという経験から、自分のものと公共物との違いを理解し、大切に扱う、返却日を守るといった責任感も育まれるものと思います。なお、県立図書館には親子が座って一緒に絵本や紙芝居を楽しめる親子読書室があり、週末には多くの方で賑わっています。

小中高校期になれば、すてきな本との出会いを求めて熱心に通ってくれる読書家の生徒さんも時々いますが、多くの人は、部活等が忙しくて足が遠のくのではないのでしょうか。夏休みの読書感想文のための本探しでもけっこうですから、来館していただきたいと思っています。県立図書館では、その魅力の一つに自習室の充実があります。2階に2部屋あり、多くの方に利用していただいています。週末には、自習室で勉強するという目的で来館する高校生もたくさんいます。

また、県立図書館は大学生等にも多くご利用いただいています。様々な分野の専門書を多く所蔵しているため、卒論やレポート作成のために役立っているようです。当館に所蔵がない資料をご希望の場合には他県の公共図書館からの貸し出しも可能ですので、ご相談ください。

そしてその他一般の方々。毎朝、玄関前には開館を待つ多くの方々の列ができます。新聞、雑誌、インターネット利用に加え、専門書、郷土資料、俳句、子育て支援、医療・健康などの各コーナーを多くの方にご利用いただいています。

こうした、閲覧、貸し出しを目的に来館される利用者のほか、当館が主催する各種イベントへの参加のため来館される方も多数いらっしゃいます。乳幼児対象の「おはなし会」や、「読書ボランティア講座」、「古文書解読講座」などには、毎回多くの方々にご参加いただき、充実した時間を過ごされていらっしゃいます。今後も、県民の皆様方が気軽に図書館に足をお運びいただけるよう講座やイベントを企画していきたいと考えています。

AIやDX（デジタルトランスフォーメーション）が進展し、社会環境も変化していく中、これからの公共図書館の役割も変化していくものと思われれます。新しい情報技術の導入により、図書館サービスがどのように進化していくか期待されているところです。5月には改正著作権法が成立し、今後、一定の条件のもと、図書館資料のメール送信等が可能になります。コロナ禍でDXが加速したとも言われていますが、制度の改正やデジタル技術の活用により、図書館はより多くの方に、一層便利に使っていただけるようになると思っています。

しかしながら、どのように社会が進展しようとも公共図書館の使命は、社会生活、経済・産業活動、教育・文化など様々な分野でその発展に寄与する「愛媛の情報拠点」であるとともに、乳幼児から高齢者まで、幅広い世代のニーズに対応するサービスを提供することで県民の文化の向上に寄与する「知と文化の発信拠点」であり続けなければならないと認識しています。電子書籍が台頭する時代が来ようとも、実際に本に触れてその重さや紙の感触を楽しみながらする読書、納得解が得られるまで探求する調べもの、学生の自学自習など様々な目的を持った方で溢れる、「静謐な賑わい」のある施設を目指し、職員一同業務に取り組んでまいります。皆様のご来館をお待ちしています。

令和2年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 県行政資料電子化事業



新型コロナウイルス感染症対応 地方創生臨時交付金

令和2年度に、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により、愛媛県行政資料（藩政期・明治期）のうち、土木関係資料508冊の電子化を行いました。

折りたたまれた図面が多く、閲覧することが容易ではありませんでしたが、電子化して館内の端末で利用することにより、出納や閲覧等にかかる時間を短縮し、長時間滞在の抑制を図るとともに、より多くの県民の皆様の目に触れる機会を増やし、図書館サービスの向上に繋げることとしています。また、貴重書であることから、資料保存のため特別取扱資料としてコピーをお断りしていましたが、プリントアウトでの提供が可能となり、便利に御利用いただけるようになりました。

図面にとって「広げたり、畳んだり」を繰り返すことは、資料への負担が非常に大きく、劣化する原因のひとつです。電子化は、資料を守り、後世に伝えるための、重要な手段でもあります。

電子化した資料のデータを活用いただけます

電子化した愛媛県行政資料のデータは、様々な用途に御利用いただいています。これまでの活用例を御紹介します。

●印刷物

- ・図書、雑誌
- ・児童書、学校の副読本
- ・博物館の図録
- ・学校記念誌、自治体史誌
- ・研修会・講座のテキスト
- ・各種パンフレット

●博物館等の展示パネル

●ホームページ

●複製（レプリカ）

等

なお、利用目的終了後のデータ保持はお断りしていますので、御理解、御協力をお願いいたします。

お申込み・お問合せは、えひめ資料室まで御連絡ください。

愛媛県行政資料（藩政期・明治期）

愛媛県総務部より管理換された、藩政期から明治末年に至るまでの愛媛県行政文書4130点。県政の足跡を示す重要な地域の記録であり、愛媛県立図書館が所蔵する特別コレクションのひとつ。うち、県内絵図115点については、「愛媛県立図書館デジタルアーカイブ」としてweb公開している。

<https://trc-adeac.trc.co.jp/WJ11C0/WJJS02U/3800115100>

令和2年度中国・四国地区図書館地区別研修を開催して

当館では、県立図書館の役割のひとつとして、県内の図書館職員を対象にした研修会を運営する機会も多いのですが、令和2年度は、中国・四国地区の図書館職員対象の研修を担当しました。

本研修は、図書館に関する最新のテーマや地域における課題等について研修を行い、図書館における中堅の司書としての力量を高めることを目的として、文部科学省が主催しています。中国・四国地区の各県と政令指定都市の図書館が持ち回りで担当しており、愛媛県での開催は、平成21年度以来です。

令和2年12月の開催に向けて、館内で担当者を決めて、本格的な準備に入ったのは、令和元年5月でした。前年度の担当館等への聞き取りや視察等を基に、およそのタイムスケジュールを組み、次に、研修内容の検討に入りました。幅広いテーマを取り上げることに留意し、それについてご講義いただく方の候補を絞っていきました。その方々に連絡を取り、令和2年1月頃までに内諾をいただいたところまでは順調でした。

ところが、ここに来て予期せぬことが起こりました。新型コロナウイルスの感染拡大です。4月には、初めての緊急事態宣言が発令され、当館を含む県内すべての図書館が臨時休館するなど、経験したことのない事態に陥りました。

現地での集合研修を予定していた本研修も、変更を余儀なくされ、現地研修とZoomによるオンライン研修を並行して行うことになりました。一度提出していた事業計画書を再提出するなど、受講者募集までのスケジュールもずれ込みました。

オンライン研修が加わることで想定される様々な事態や、その対応について、担当者間で情報を共有しつつ、準備を進めていきました。幸いなことに、講師をお願いする先生方は、大学等で既にZoomを経験されている方が多く、現地受講とオンライン受講を並行しながら、グループワークが可能なことをご教示いただくなど、逆に、こちらの経験不足な点をカバーしていただきました。Zoom関連の機器の配置や、操作研修など、慣れないことに右往左往しながらも、研修初日を迎えました。

12月8日（火）から11日（金）までの4日間にわたる研修は、文部科学省による情勢報告、基調講演のほか、6つの講義と、2つの事例発表、施設見学で構成しました。1コマ単位の受

講も可能ですし、全体の4/5以上の受講とレポート提出で、文部科学省から修了証書が授与されます。

新型コロナウイルスの状況も、比較的落ち着いた時期でしたので、講師の方々には、当地でご講義いただくことができました。受講者は、現地受講36名、オンライン受講78名でした。

内容は、次のとおりです。

【文部科学省説明】

【基調講演】公共図書館の役割とサービス展開の方向

【講義①】平成30年7月豪雨における資料保全活動－愛媛県の被災・復旧・復興状況－

【事例発表①】学び・はぐくみ・つながる出会いのひろば～『市民協働』を目指す図書館

【事例発表②】愛媛県立図書館・郷土資料電子化のあゆみ

【講義②・演習】超高齢社会で生きる図書館

【講義③】図書館のアクセシビリティを高めるために：求められる環境整備とサービス

【講義④】図書館の自由

【講義⑤】コレクション構築の理論と実際

【講義⑥】公共図書館と学校図書館との連携

【施設見学】伊予市立図書館

受講者へのアンケートでは、オンラインの受講者から「これまで旅費や日程の都合で参加できなかったが、Zoomのおかげで参加できた」「職員が交代で参加できた」等の好意的な声が多く聞かれました。また、各講義については、「被災資料のレスキュー作業について、話が具体的でわかりやすかった」「まさに今、自館で取り組むべき課題だと感じた」「基本に戻ることでできた内容だった」等の感想をいただき、所期の目的を達することができたと感じています。

今後とも、県内の図書館関係者の資質向上のため、研修の場を提供できるよう努めてまいります。



講義の様子

(相談グループ 橋 可奈子)

コロナに負けない! 読書振興の取り組み

「ひみつのオープン☆ゆうぐれとしょかん」

新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策のため、例年開催していた「ひみつの図書館たんけんツアー」の実施が難しくなりました。密にならずにイベントを行う方法がないかと考えた結果、新しいイベントが生まれました。名付けて、「ひみつのオープン☆ゆうぐれとしょかん」。当館の子ども読書室は、いつも17時に閉まりますが、閉室したあと、参加者だけ入室できるようにしました。

約1時間のイベントは、4つの内容で構成しました。1つ目は、キッズひろばでスライドや写真を見せたり、クイズを出したりして、子ども読書室を紹介しました。2つ目は、実際に入ると密になってしまうので、書庫見学の動画を視聴してもらいました。書庫には、しかけ絵本や古い紙芝居、新聞などがあり、子どもたちは、興味をもって見てくれていました。

3つ目は、子ども読書室を使ったメインイベント「本を探して、ミッションクリア!」です。子どもたちに問題カード（請求記号と図書名が書かれたカード）を配り、閉室後の子ども読書室に入ります。探した本には、次に探す本のレシートが入っていて、3冊目の本には文字カードが挟んであります。それをキッズひろばに持ち寄り、文字カードが示す言葉を考えます。答えは、「はしれ! いちばんぼし」。大型絵本の書名です。そして、4つ目。見事にミッションをクリアしたご褒美として、当館館長によるこの本の読み聞かせを楽しみました。

イベント終了後にも子ども読書室に入って本を選ぶ親子がいて、図書館を身近に感じてくれたのではないかと思います。

(読書振興グループ 高藤 美樹)



スライドを使って図書館紹介

「おでかけ県立図書館事業」(令和2年度)

図書館や書店がない地域で、子どもたちの読書活動を推進するため、学校を会場として「おでかけ県立図書館事業」を開催しています。2年度は、鬼北町立三島小学校と上島町立生名小学校で実施しました。

新刊書を中心に500冊以上の図書を持参し、閲覧や貸出を行ったり、低学年にはおはなし会、高学年にはブックトークを実施したりしました。また、事前にアンケートを実施し、児童及び教職員全員に推薦図書を用意して、選書の参考にしてもらいました。児童らは、たくさんの新しい本に目を輝かせ、楽しそうに本を選んでいました。



おでかけ県立図書館

学校に図書館がやってきた

「お届けします! よむよむボックス」(3年度)

長引く新型コロナウイルス感染症の感染対策として、接触機会を減らすことに留意しながらも子どもたちに本との出会いを提供したいと考え、3年度は、職員が新しい図書を中心に選び、宅配便を利用して学校へ届けることで、子どもの読書活動を支えることにしました。

そこで、「よむよむボックス」と名付けた図書箱を、送付を希望された愛南町立久良小学校、同町立柏小学校、松野町立松野中学校へ6月下旬から1ヶ月間貸し出しました。読んだ本は貸出図書リストにシールを貼ってもらいました。たくさんのシールが並んで返ってきました。



よむよむボックス

コロナに負けない！読書振興の取り組み

「読書ボランティア等スキルアップ事業」

子どもの読書活動を推進するリーダー的人材の育成を目指して2つの講座を開催しています。

「読書ボランティアビギナーズ講座」は、これから読書ボランティアを始めようと思っている方や始めたばかりの方を対象に、絵本の持ち方から選び方、いい声の出し方など基礎的な技術を講師から学びます。

「読書ボランティア等スキルアップ講座」は、既に読書ボランティアとして活動されている方々が新たな技術を身に付けたり知識を深めたりできる講座です。2年度の講座ではストーリーテリングやわらべうたの技術を身に付けたり、絵本の知識を深めたりする講座を行いました。感染症対策のため人数を制限して開催しました。どの回も参加者は熱心に受講していました。



読書ボランティア等スキルアップ講座

「学校図書館整備支援事業」

県立図書館の整備支援事業は、高等学校や中等教育学校、特別支援学校を対象に、平成29年度から実施しています。

これは、高校生にとって最も身近な学校図書館の環境整備を進めることで読書活動を促進させようというもので、これまで8校の整備に協力してきました。

2年度は県立三崎高校と県立松山聾学校の両校から除籍する古い資料の選定や図書館レイアウトの変更について相談を受け、助言や作業協力を行いました。

また、三崎高校の図書委員を対象に「図書委員スキルアップ講座」をオンラインで開催し、POP作成のコツなどを紹介しました。



図書委員スキルアップ講座

(読書振興グループ 東 智子)

必要な方に県立図書館の本を ～県立図書館司書1年目を振り返って～

愛媛県立図書館に勤め始めて、はや一年が経ちました。今回は、日々の業務を通して知った県立図書館の特色やサービスについてご紹介したいと思います。

愛媛県立図書館では、県民の皆様に様々な形で図書館サービスの提供に努めています。図書館にある資料は、一般書、郷土資料、児童書に大別され、それぞれ一般図書室、えひめ資料室、子ども読書室に置かれています。一般図書室には課題解決支援（ビジネス、医療・健康、子育ての各分野）に関する本を特別に集めたコーナーを設け、関連機関と連携・協力して情報提供を行っています。

また、えひめ資料室では、郷土資料として愛媛県に関する内容や俳句に関する資料を見ることができます。貴重な資料を用いた展示も必見です。子ども読書室には、絵本や年齢に応じた児童向けの本があります。中でも中学生・高校生向きの本は、一般図書室にヤングアダルトコーナーを設けて置いています。過去に出版された本も書庫に保管されています。私が子どもの頃に読んだ本もあり、とても懐かしく思いました。一般書や郷土資料も書庫で保管しています。県立図書館では資料を保存する役目も担っているので、貴重な古い本もあります。これら

の本は、利用者からの希望があった場合に、職員が出納します。どのような本があるか調べる時は、館内の蔵書検索端末で調べることができ、愛媛県立図書館ホームページからも検索が可能です。県内に在住しているものの、愛媛県立図書館に来館することが難しい場合は、お近くの図書館等に取り寄せて利用することもできます。

さらに、便利なサービスとして、県立図書館に直接来館して借りた本を地元の図書館等で返却できる「遠隔地返却サービス」があります。松山市内では松山市立中島図書館、それ以外の市町では各地域の図書館等の返却可能施設で県立図書館の本を返却することが可能です。県立図書館で本を借りた際に、手続きを行う必要がありますが、県内の市町の協力により、平成27年にサービスを開始して以降、多くの方に利用されています。

このように、愛媛県立図書館では所蔵する資料をより多くの県民の皆様に活用していただけるよう取り組みを行っています。愛媛県立図書館の司書として、今後も資料を必要とする方に届けられるよう努めてまいります。

(相談グループ 堀内 悠加)

資料紹介、出版物

<がん情報ギフト、更新中>

国立がん研究センターから「がん情報ギフト」のセットが初めて寄贈されたのは、平成30年6月のことです。「がん情報ギフト」は、国立がん研究センターが、ウェブサイト「がん情報サービス」の科学的根拠に基づいたがんの情報を、「がんの冊子」の形で、全国の図書館等に寄贈するプロジェクトです。

当館では、3階一般図書室「医療健康情報コーナー」で、閲覧及び借出ができます。また、一部、持ち帰りができる冊子もあります。

「がんの冊子」は、古くなった内容を3～5年程度で改訂しています。現在、年4回程度、国立がん研究センターから改訂された冊子がまとめて届くので、それに合わせて、当館の「がん情報ギフト」のコーナーも更新しています。



今年4月には、「肺がん検診」等、5種類のがん検診パンフレットが新しく加わりました。

◆がん情報サービス（国立がん研究センター）

<https://ganjoho.jp/public/index.html>

（相談グループ 橋 可奈子）

<だれでも俳人！俳句ポスト設置しました>

令和2年12月、松山市が運営している「俳都松山俳句ポスト」を4階のえひめ資料室ロビーに設置しました。選句は3ヶ月に1回。選ばれし句は松山市HPや愛媛新聞で発表されます。当館の「伊予俳諧文庫」（俳句コーナー）を眺めつつ、季節の移ろいを心のままに詠むのも、粋な楽しみ方のひとつです。投句を通して、愛媛の俳句文化に触れてみませんか？

（図書整理グループ 伊井 友世）

<子どもとのしむ絵本の時間>

3・4・5歳児と一緒に読みたい絵本>

まだ文字の読めない幼い子どもが絵本と出会うためには、身近な大人による読み聞かせが大切です。幼児にどんな絵本を選ばいいかと悩む保護者や読書ボランティアの方に向けて、パンフレットを作成しました。おすすめの絵本やおはなし会のプログラム（当館での実践例）も載せています。子ども読書室で、掲載の絵本を借出することもできます。



<電動マイクロリーダーが予約優先制になりました>

令和3年度から電動マイクロリーダーの御利用は、予約優先制になりました。御利用日の1ヶ月前から受け付け、お一人が予約できるのは、1回（2時間）です。御理解、御協力をお願いいたします。お申込み、お問合せはえひめ資料室まで、窓口またはお電話で御連絡ください。

（図書整理グループ 中村 由紀）

<探検しよう！本の国2021>

2004年版から続く推薦図書リストです。書評雑誌等で取り上げられた前年発行の図書を中心に200冊以上を読み比べ、乳幼児、小学校低・中・高学年、中・高校生向けと5つに分け10冊ずつ、合計50冊を選び、書評文も職員が書いています。選書の参考にどうぞ！

（読書振興グループ 東 智子）

愛媛県立図書館の利用案内

【開館時間】

火曜から金曜…午前9時40分から午後7時まで
土・日・祝日…午前9時40分から午後6時まで
子ども読書室…午前9時40分から午後5時まで

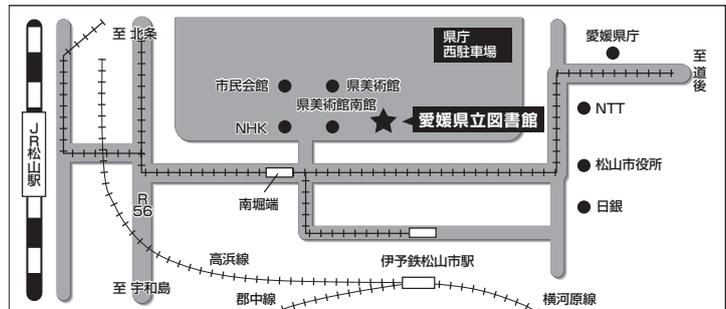
【休館日】

月曜日（祝日の場合は、直後の平日）
年末年始（12月29日～1月3日）
特別整理期間（10日以内で館長が定める日）
館内整理日（毎月末日、ただし、その日が上記休館日、土・日曜日に当たるときは館長が定める日）

【駐車場】

図書館専用の駐車場はありませんが、県庁西駐車場（旧国際交流センター跡地）を2時間ご利用いただけます。ただし、駐車台数に限りがありますので、できるだけ公共交通機関のご利用をお願いします。

<付近略図>



編集・発行 愛媛県立図書館

〒790-0007 松山市堀之内 TEL 089-941-1441(代表) FAX 089-941-1454
<https://www.ehimetosyokan.jp> e-mail: tosyokan@pref.ehime.lg.jp(代表)